



令和6年度 高雄日本人学校

愛河

校訓「高雄の子ども」 たくましい子 考える子 思いやりのある子



学校だより 3月号②

令和7年3月12日

文責 校長 堀山 知基

令和6年度が終わります。1年間ありがとうございました

先週7日(金)、日本台湾交流協会高雄事務所 奥所長様をはじめとする来賓の皆様や、保護者の皆様にご臨席を賜り、令和6年度卒業証書授与式を挙行了いたしました。小学部卒業生11名、中学部卒業生6名ともに練習で取り組んできたことを十分に発揮し、卒業生としての立派な姿を示してくれました。また、在校生側も、送辞・別れの言葉に感謝の思いを込め、しっかりとその思いを卒業生に伝えました。卒業生も在校生も、お互いに感謝の気持ちを伝え合った温かな雰囲気溢れた卒業式となりました。

小学校課程の6年間、中学校課程の3年間の学びで得られた成果と自信を胸に、高雄日本人学校での思い出を大切に、堂々と次のステージへ進んでほしいと願っています。卒業生の皆さんの、これからのますますの成長に大いに期待しています。

そして、本日3月12日(火)、令和6年度修了式を行いました。各学級の代表児童生徒にこの1年間の努力の証である修了証書を手渡しました。修了証書を受け取る児童生徒の所作も大変落ち着いており、卒業生と同じく、立派な姿でした。



さて、卒業式、修了式を無事に終え、令和6年度のゴールを迎えました。今年度も学校教育目標「未来に向かって 一人一人が輝く」の下、本校の教育活動を推進してまいりましたが、学習活動や学校行事など様々な場面で、児童生徒一人一人が見事に輝き、子供たちの大きな成長の姿を見ることができました。学校内外で大きな賞賛を受けた和太鼓の演奏、運動会で生き生きと躍動する姿、台湾の現地校の児童生徒と笑顔で交流する姿、学習発表会で披露したすばらしい表現力など、児童生徒の輝きを挙げるときりがありませんが、それほど充実した令和6年度であったように感じます。



このように、子供たちが充実した1年を過ごすことができたのは、台湾の現地校の関係者の皆様や、保護者の皆様から本校の教育活動へのご理解とご支援をいただいたからこそです。ご協力、誠にありがとうございました。令和7年度も子供たちのますますの成長のために、本校職員が一丸となって、教育活動を推進してまいります。引き続き、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

新しい学校でも頑張ってくださいね！

大変寂しいですが、今年度末をもって 名の児童生徒が転出します。高雄日本人学校の思い出をいつまでも忘れず、新しい学校でも頑張ってくださいね。皆さんのことを応援しています。再見！



～お願い～

明日から年度末休業期間となります。ご家族で楽しい時間をお過ごしください。万が一、休業期間中に緊急の連絡を必要とする児童生徒の怪我や事故などがありましたら、学校または教頭にご連絡ください。

